

社協 尾崎支部だより

編集・発行
各務原市
社会福祉協議会
尾崎支部

校下の皆様へ

社会福祉協議会尾崎支部長 山内 行雄

校下の皆さん、いつも社協尾崎支部の行事に特別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は年初より昭和天皇が崩御され、暗然たる気持ちになり、また、社会主義国家の体制急変など、誰もが想像もつかなかった事態が起きました。然も、今後、世界の情勢は更に予測も出来ない変化の可能性を秘めつつあり、私たちは、それに対応できる心構えが極めて重要であると、痛感させられます。

お互い健康に留意しつつ、福祉の充実に一層の拍車をかけることが大切であると思われまふ。

今年も、皆様の絶大なるご協力を心よりお願い申し上げます次第です。

さて、尾崎支部は、役員各位の並々ならぬご努力によりまして、

- 1、規約の全面的改正を実施、福祉フェスティバル、チャリティバザー売上金を以てリクライニング式車椅子を2台、市に寄贈できました。

これは、連日寝たきり老人を「ぬくもり」号に掛けて、入浴サービスに使用され、大変喜んで頂いております。

- 1、老人介護講習会を3集会所で開催、介護の実践会得を図り、さらに近隣ケアグループを創設し、社会的弱者に即刻援護対応できる体制強化に着手しました。

- 1、7月6日より社協事務局のご協力によって、市役所尾崎出張所内にボランティア相談日を開設、毎月第1木曜日PM1:30—4:00を同相談日とし、皆さんのご相

談に応ずることになりました。

今後、皆さんの一層のご利用をお願い致します。

- 1、さらに、12月10日社会的弱者介護者等を対象とする福祉懇談会を開催し、社会的弱者、その人たちの介護者の悩みを披歴していただき、その対策を市と共に検討すること。

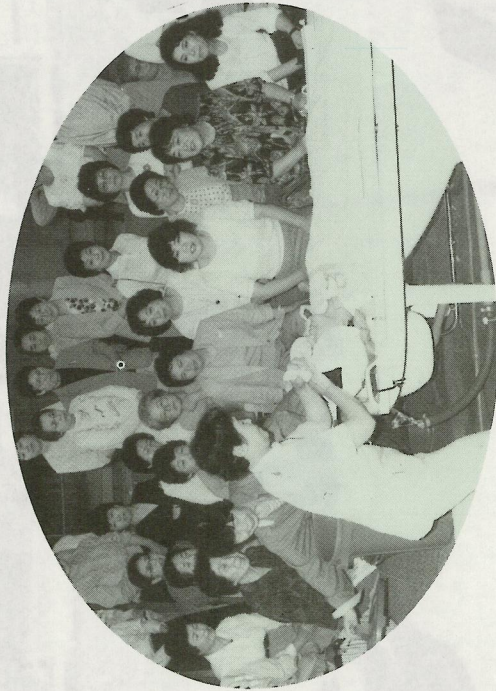
- 1、平成2年1月12日には、福祉施設訪問研修を実施、38名の多数参加者があり、参加者一同深い感銘をうけつつ、今後の福祉の充実に心新たに致しました。

以上、簡単なお報告ですが、役員皆さんのご協力に心からお礼申し上げますとともに、今後、皆様の一層の温かいご協力をお願い申し上げます次第であります。

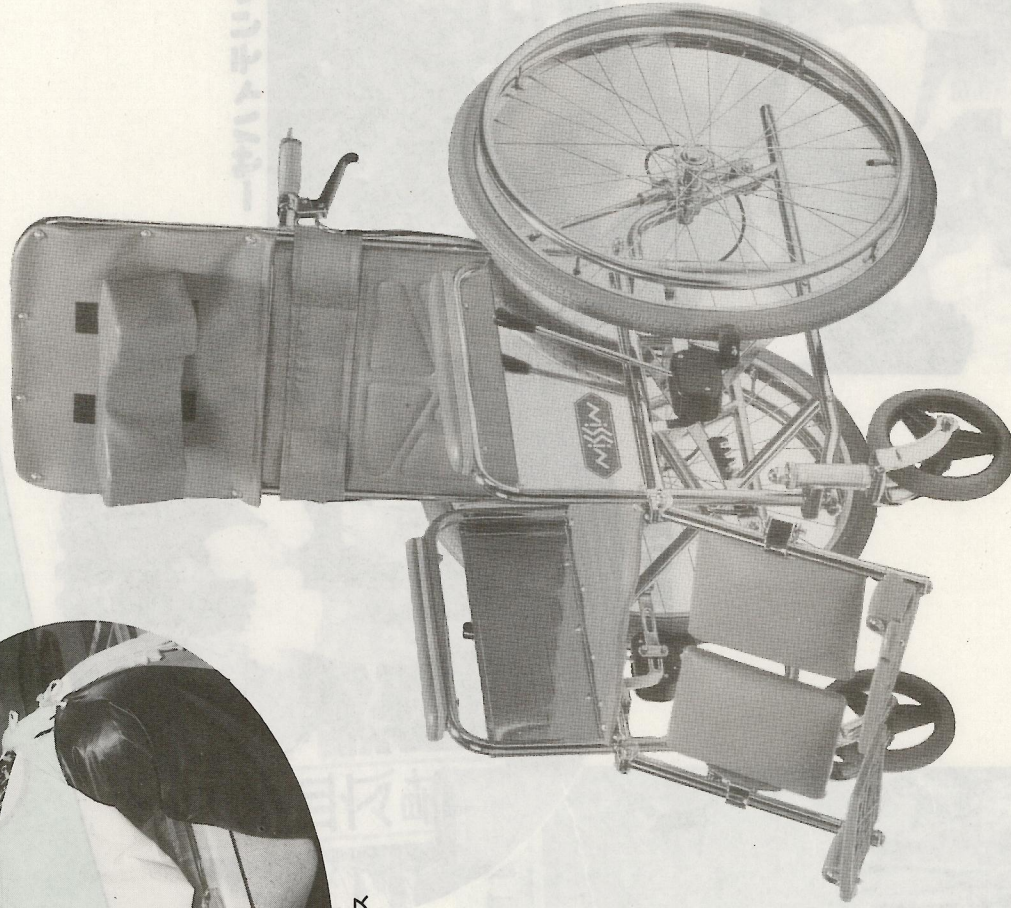
以上



▲入浴サービス



▼老人介護講習



福祉フェスティバル実行委員長

金子

充

第 3 回福祉フェスティバルが 11 月 3 日に尾崎小学校にて行なわれました。

当日は皆様ご承知のとおり、屋内では「園児・

寿会・消防署音楽隊の発表、後藤講師による福祉

講演、ボランティアによる各種ふれあいコーナー」

などが行なわれ、屋外では「献血、模擬店」など

盛り沢山の催しを行ないました。

「子どもフェスティバル」と共催したことも

ありますが朝早くから沢山の方にお出かけ頂き盛

大に行なえましたことは皆様方のご理解の賜物と

感謝してゐるところです。

お出で下さいました皆様方には福祉の何かを感

じて頂けたものと思っております。この団地も(特

に北町・南町では)世間とおなじように、否それ

より早いペースになるかも知れませんが高齢化社

会がやっております。高齢化対策はかりが福祉

ではありませんが、今後も多くの方に「福祉」を

考えて頂けたらと思っております。

皆さま方のご理解・御協力のお蔭で立派なフェ

スティバルが実施出来たことに感謝しており

ます、有難うございました。



フェスティバル



3でしたチャリティバザー



愛の献血



クロツケゴルフ大会



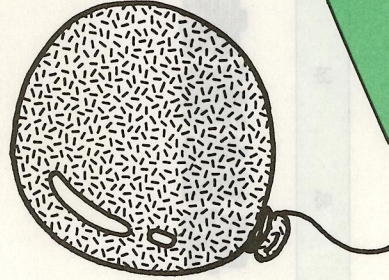
たのしい折り紙



竹トンボづくり挑戦!!

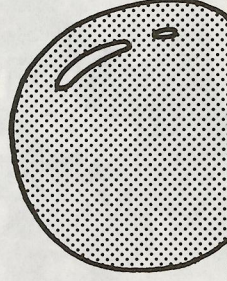


フェスティバル標語・ポスター



竹トンボづくり挑戦!!

ふれあいフェ



大盛

尾崎少年指導部会

古田 澄信

「尾崎は一つ福祉の輪を拡げよう」をテーマに第3回尾崎福祉フェスティバル・第10回子どもフェスティバルが開催されました。

今年度は学校施設の関係から11月3日の文化の日に開催され、例年の暑いフェスティバルから、さわやかなフェスティバルになり、校下の方々も本当に楽しく、有意義なフェスティバルを満喫されたと思います。私達、少年指導部会は、スポーツ少年団、文化団体、子ども会等が中心となり、ウォークラリー、風船割りゲーム、人形作り、ワリバン鉄砲、布バック、お手玉作り等を担当しました。午前10:30分、子ども会会長の川島君の力強い開会宣言、増沢少年指導部会会長の挨拶があり、子どもフェスティバルの開催です。子ども達はいっせいに各催物の方に向け出して行きました。体育館の中では、女の子達が育成者の方々の指導を受け、なれない手つきでお手玉作りや布バック、人形作りに挑戦しています。針を使うのが上手な子、苦手な子、上級生が下級生の子の作品を手伝って作ってやっている、ほほえましい姿が印象的でした。中庭に目を向けると風船割りゲームやバuntingマシンには列が出来、ワイワイ、ガヤガヤ、本当に楽しそうでした。

学校を出発点に、ふる里、尾崎再発見と地域の自然と文化を知ろうと企画されたウォークラリー、こま図(絵地図)を片手にチェックポイント探し、チェックポイントでの課題に頭をかかえる子、難問を解き、次のポイントへかけ出していく子ども達、チームワークの大切さを身を持って体験してくれたと思います。

今回で第3回を迎えたフェスティバル。毎年、福祉の輪が少しずつ大きく広がっている様に思います。着実に地道な運動が多くの人達に支えられ、実を結んできているのではないのでしょうか。

最後にフェスティバルの開催にあたり、企画、運営にあたられた各種団体の皆様方に心より感謝申し上げます。

